

◆活動団体

団体名: 特定非営利活動法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会
 連絡先: TEL 090-1017-8296
 メール: npoamada_geibun@yahoo.co.jp

◆活動内容

- 1 夢街道「浜田城…江戸から明治へのみち」事業
 - ①浜田城つばきの復活事業
 - ②茶の湯文化4の復活事業
- 2 芸術文化を中心としたまちづくり事業
 - ①カレンダー「ふるさとが生んだ画家シリーズ」
 - ②第6回石本正日本画大賞展協賛
- 3 「スプリングコンサート in はまだ」への協賛

1 夢街道「浜田城…江戸から明治へのみち」事業

①浜田城つばきの復活事業

元和5年(1619年)に初代藩主古田重治が伊勢国松坂から転封、浜田藩を開府した。重治は、千利休の高弟で武家茶人としても高名な古田織部の甥であり、自身は後に織部流五世を嗣ぐ茶人でもあった。

茶花として椿を好み、築城の際、城山に植樹したものである。以後、自然交配を重ね、多くの珍種に生まれ変わり、城下町の文化に彩りを添えた。

しかし、その後の管理の不備・乱伐等により殆どその姿を消してしまった。

幸いに保存を続けて来られた愛好家の方々のご協力のより、苗木を頂き育成している。

浜田城自生椿の名花

・日本ツバキ・サザンカ名鑑登録品種

日本ツバキ協会 推奨品種 ○ 准推奨品種 ○



R3年度

②茶の湯文化4の復活事業

浜田城歴史資料館(旧御便殿)活用

旧浜田藩主松平家によって建築され、大正天皇が皇太子時代に山陰を行啓された際、宿泊施設として利用された由緒ある建築物で、令和元年から資料館として利用されている。

茶道織部流を嗣いだ古田重治侯との関係の深い「裏千家淡交会」の協力を得て、令和3年度春・秋の城山茶会を計画したが、コロナの為、実施出来ず、令和4年度は5月ゴールデンウィークの実施を計画している。



2 芸術文化を中心としたまちづくり事業

① カレンダー「ふるさとが生んだ画家シリーズ」

令和3年度 「のれん」

令和4年度 「舞妓座像」

当面は、石本正シリーズを続けるが、可能であれば、橋本明治・山崎修二等々、ふるさとが生んだ画家シリーズも企画したい。



② 第6回石本正日本画大賞展協賛（浜田市三隅町古市場・石正美術館にて開催）

令和3年度は、第6回石本正日本画大賞展・特別賞 浜田芸術文化のまちづくり推進協会賞を制定する。

受賞者 加藤 まみ 武蔵野美術 修士1年

タイトル「environment」

*出品校数 28校

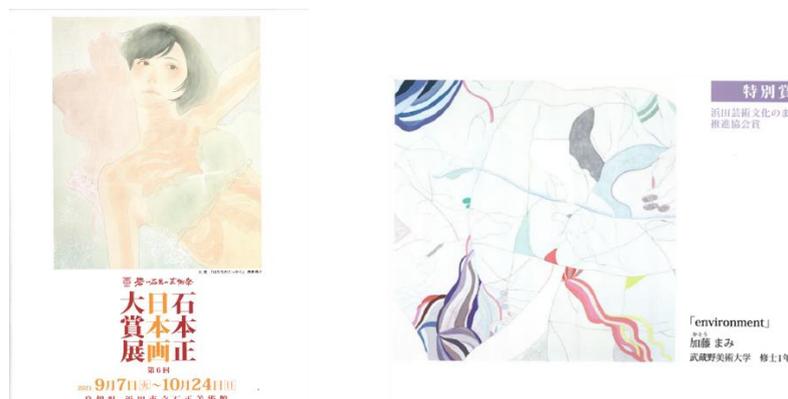
*出品数 79点

*展示期間 令和3年9月7日～10月24日

令和4年度第7回石本正日本画大賞展協賛を予定としている。

*令和4年9月10日～10月23日

*浜田市三隅町古市場・石正美術館



3 「スプリングコート in はまだ」への協賛（予定）

地元4高等学校吹奏楽部に、それぞれ新入部員が加わり、新しいチームによる最初のイベントとして、すっかり定着しているスプリングコンサートを協賛・支援する。

*令和4年4月24日（日）

*石央文化ホール（浜田市黒川町）

*自衛隊音楽隊

浜田高等学校・浜田商業高等学校・江津高等学校・石見智翠館高等学校